

第20号
H28年
秋

地域医療支援センターだより

第16回 災害対応訓練を行いました。

10月22日に七尾鹿島消防本部との合同で、当院にて災害対応訓練を行いました。特に今年度は訓練の2週間前の10月8日にのと里山海道にてマイクロバスとワゴン車の衝突事故が起きたばかりだったということと、奇しくも訓練では事故内容に近い能越道での多重事故が想定されていたので、当院職員の訓練に臨む気持ちも例年とは違っていたかもしれません。



訓練前半での消防とDMATとの共同での救出・トリアージ訓練風景です。訓練ですが、本番さながらの悲鳴が聞こえている現場でした。



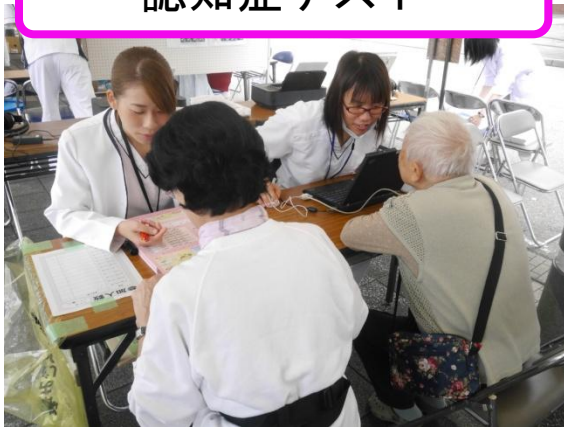
訓練後半では、当院では初めての試みとなる、職員登院後のチームの割り振りを行いました。今回は今までのように事前のチーム分けを行わなかったのが、現場に限らず、災害対策本部も大慌てだったようです。

第16回にして、本番のような訓練だったので、「訓練のための訓練」ではなく、「災害に備えての訓練」が行えたのではないのでしょうか。

第11回七尾市民健康福祉まつり

公立能登総合病院は、今年も七尾市民健康福祉まつりに参加しました。病院としての参加は、今年で3回目でした。当院のパビリオンには、合計1,027名の方に来ていただきました。

認知症テスト



今年の福祉まつりは当日まで天気が心配されていましたが、みんなの熱意が届いたのか、何とか雨も降らずに終わることができました。
ε-(´▽`*)ホッ



歯ブラシ指導



福祉まつりでは、治療ではなく、目薬指導・歯ブラシ指導・リハビリテストなどといった予防的指導がメインになるので若い人の参加も多く見られました。



「わくたまくん」や「とうはくん」といった人気のゆるキャラたちも応援に来てくれましたよ♪

地域包括ケア病棟運用開始のお知らせ

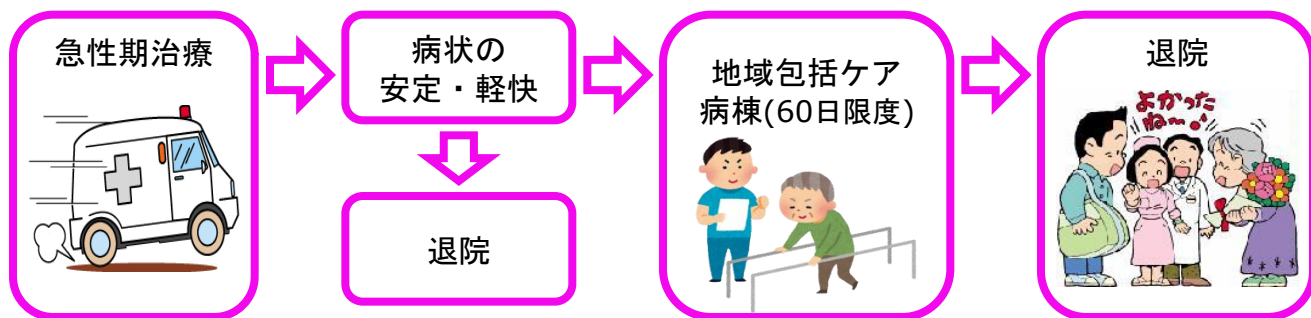
当院では、平成28年10月より5階西病棟(54床)にて地域包括ケア病棟入院料を届出し、運用を開始しました。

地域包括ケア病棟とは？

急性期治療を経過し、病状が安定した患者に対して、在宅復帰を目指した支援を行う病棟です。必要な治療に加え、リハビリ、栄養指導、内服調整や在宅サービス利用調整など、安心して退院していただけるよう支援を行います。

地域包括ケア病棟での流れ

主治医が入棟を判断し患者・家族に提案させていただきます。ご了解いただいた場合、地域包括ケア病棟へ入棟し、在宅復帰を目指します。入院期間は、状態に応じ調整いたしますが、60日を限度としております。



入院に関する注意点

一般的な血液検査・レントゲン検査・投薬治療は可能ですが、一般病棟で行うような特殊な検査・手術や高額な医薬品の投与などには対応できません。

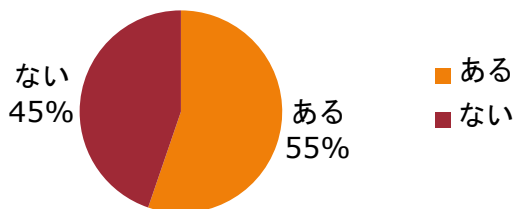
病状の変化により主治医が集中的な治療が必要と判断すれば、一般病棟に転棟する場合があります。

人生の最終段階(終末期)における 患者の意思決定支援

厚生労働省から「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」というものが出ていることはご存知でしょうか？当院では、そのような流れを受け、今年度より意思決定支援体制の構築を目指し、プロジェクトチームを立ち上げました。

今年8月に全医療職を対象に人生の最終段階における意思決定についての考えの調査を行いました。グラフは調査を行ったものの一部です。

人生の最終段階における患者・家族の意思決定支援において悩んだり迷ったりした経験がありますか？

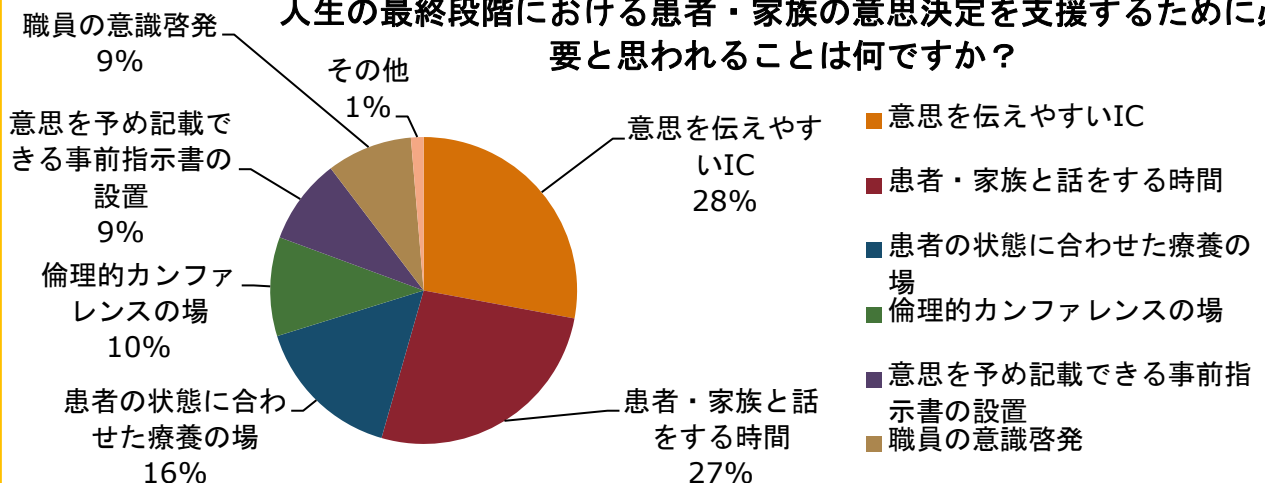


総数で439件の回答があり、以下のように悩んだ経験がありました。

- ・DNRの患者だったのに救急搬送時に挿管された。
- ・経口摂取不可ということで胃瘻造設となった。
- ・家で看ないのに救命処置希望。
- ・患者は家に帰りたいが家族の協力が得られない。

・・・etc.

人生の最終段階における患者・家族の意思決定を支援するために必要と思われることは何ですか？



当院でも、始まったばかりのプロジェクトですが、これをきっかけにもっと患者さまの立場を第一に考えられる病院を目指したいと考えています。